



岩江中だより

第39号

発行日：平成27年 2月 6日

発行：三春町立岩江中学校

電話：0247-62-8290

FAX：0247-62-8380

E-mail: school@iwae-j.fks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～

【ちょっとうれしいお話～優しく、礼儀正しく、勇気のある子どもたち。ありがとう！～】

前号でお知らせしたちょっとうれしいお話は、その後も続いています。朝の出会いにはさまざまな感動があります。「ちょっとうれしいお話」の〔その後〕をご紹介します。

〔その後〕温かな子どもたち！

時は朝7時、左手に黄色い“横断中”と書かれた旗、右手に雪かき用のスコップを持って横断歩道に向かおうとしていた時のことです。1年生の男子生徒が、「校長先生、何かお手伝いしましょうか。」と声をかけてくれました。うれしかったですねえ。手伝ってもらえることと同時に、この男子生徒が、自分のことだけではなく、他の人のことも気かけ、助けてあげよう、自分も人の役にたとうという優しい気持ちと、話しかけるということへのたいへんな勇気を強く感じたためです。人のためという気持ち、相手の立場を理解しつつ表現しようとする勇気は、集団生活をスムーズに送っていくためにとても大切なことだと思います。きっとこの1年生男子は、みんなと仲良く、みんなに信頼されながら、学年や学校生活を送っているのだらうと確信いたしました。一緒に雪かきを手伝ってくれてありがとう。

降り積もった雪が、子どもたちの温かい心でとけ出しそうです。そんな温かな気持ちをもった子どもたちを育てられた保護者や地域みなさん、学校の先生方の温かな心も、雪どけをますます促すだろうと思います。人と人とが温かい心でつながった社会。主義・主張を暴力で無理矢理通そうとするようなことのない社会が世界中で実現してほしいと心から願う昨今です。

【新入生学校説明会を実施！ ～在校生、教職員、みんなで迎えました。～】

2月4日（水）は、岩江小学校児童6年生32名と担任の先生、保護者のみなさんをお招きして、『新入生学校説明会』が実施されました。事前のアンケートでは、さまざまな心配や不安があるということで、学校説明会をとおして、その不安の解消を図るだけではなく、実際の中学校というものに前もって入学前に直にふれ、中学校生活への希望をもってもらおうというねらいのもとに実施されました。

説明会の資料づくりや前日の会場づくりなど、学校説明会のねらいの達成にむけ、それぞれの担当者が準備に一生懸命取り組みました。生徒会の執行部も、説明資料や手順の確認に何度も集まりを開き、岩江中学校を理解してもらえる説明にしようとがんばってくれました。

当日は、まず、授業参観をしてもらい、中学校の授業とはこういうものなんだという雰囲気来接してもらいました。後で小学生に聞いてみると、「難しそうだった。」という返答が多く聞かれました。



授業参観の次は、食堂を会場に、全体会を行いました。校長の歓迎の言葉にやや力が入りすぎてしまい、後に続く説明等に迷惑をかけしてしまいました。すばらしかったのは生徒会の説明でした。事前のアンケートを活用し、どうしたら小学生によりよく岩江中学校を理解してもらえるのかを一生懸命話し合い、楽しい雰囲気の中で工夫しながら中学校生活の説明を行いました。その後は、学習や生活、経理事務等について本校教職員から説明がありました。

長時間の説明会でしたが、児童のみなさんも保護者のみなさんも一生懸命話を聞いていただきありがとうございました。みなさんが元気に中学校に入学・登校してくることを横断歩道でお待ちしています。



【子どもたちのためにできること！ ～風・雪よけ、危険予測、凍結による転倒防止～】

朝の登校指導をしていると、たくさんの車が通り過ぎていきます。最近あることを感じています。子どもたちが横断歩道を渡りやすいように、車が横断歩道のだいぶ手前からスピードを緩めたり停車して横断歩道を渡るよう手やライトで合図したりしていただけているのではないかと思います。1部屋を荷台に積んだ大型トラックの運転手さんは、大型トラックは一旦止まると再発進がたいへんなので、遠くからスピードを緩めてゆっくりと徐行してください。そこで、旗振りとはあうんの呼吸で、「トラックが来る前に渡らせてもらおうね。」と子どもたちを促し、反対車線に気をつけて渡らせてもらいます。みんなそんな思いで岩江中学校の前を通過してくれています。また、軽自動車の小さなお子さんと運転席のお母さんは、寒い中、わざわざ窓を全開にして、「校長先生、おはようございます。」と必ず声をかけてくださいます。旗振り校長、残念ながらその軽自動車のみなさんが誰なのか、お会いしたことがある方なのか、失礼ながら、今でもわかりません。返事は必ずしますが、声をかけてくださっているのにすみません。みなさんに見守られ、子どもたちは安全に登下校できています。ありがとうございます。

一方、校内においても、子どもたちのためにできることは全てやるという気持ちでいます。下の左の写真は体育館通路の暴風・防雪ネットです。体育館通路は以前、雪がたまって歩くのに苦労したり冷たい風に吹かれたりしていたそうです。用務員の菅野さんを中心にネットを張ってくださり、今は以前ほど苦労することはなくなりました。真ん中の写真は、雪解け後のつららです。校舎を巡回していると2年生の先生方が話しかけてきて、「つららが落ちて子どもたちがけがをするといけけないので落とします。」と言ってくれました。そこで、人の通るところは落として歩きました。右側の写真は登校する男子生徒です。生徒指導主事は、毎朝、生徒昇降口の掃き掃除をし、スコップ等を持ち危ない凍結路の氷を砕いて子どもたちを待ち受けています。

「おかげさま」がたくさん見つかる学校っていいなあといつも感じています。

